平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査における

北九州市立　　枝光　　小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1．調査の目的

⑴ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

⑵ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

⑶ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2．調査内容

⑴ 教科に関する調査（国語，算数）

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

⑵ 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

⑴ 全国・本市の学力調査（国語，算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

⑵ 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・全国平均正答率を下回っていた。 ・特に「読むこと」の領域について課題がある。
	よくできた問題	・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめて書く問題については、全国平均正答率と比べ、高かった。
	努力が必要な問題	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読んで答える問題については、全国平均正答率と比べ、低かった。

算数	全体的な傾向や特徴など	・全国平均正答率を下回っていた。 ・特に「量と測定」「数量関係」の領域について課題がある。
	よくできた問題	・長方形を直線で切ってできた図形の中から台形を選ぶ問題では、正答率が高かった。
	努力が必要な問題	・図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することができる問題については、全国平均正答率と比べ、低かった。

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
・今住んでいる地域の行事に参加している児童は、全国平均よりも多い。今後も、地域やPTAの方々と協力して祭りや行事に取り組み、児童が地域の行事に進んで参加し、地域に愛着をもって生活できるようにしていきたい。 ・人が困っているときは、進んで助けている児童は、全国平均よりも多い。今後も、道徳科の主題研究を中心とした心の教育に取り組み、道徳性や道徳的実践意欲を高めていきたい。 ・将来の夢や目標をもっている児童は、全国平均よりも多い。校区の商業施設や公共施設訪問、保育士体験等、今後もキャリア教育を計画的に進めていきたい。 ・家で自分で計画を立てて勉強している児童は全国平均よりも少ない。「自主学習ノート紹介コーナー」の掲示や「枝光小　自主学習ヒントメニュー」の作成・配付を行っているが、一部の児童にしか浸透していない。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

・朝学習の時間に算数の練習問題に取り組み、計算技能の習熟を図る「チャレンジタイム」の時間を設定する。また、各学年週に1回、給食準備時間中に補充学習を行い、学力の底上げを図っている。
・主題研究の取組を軸に、授業の中で学び合いを位置付けることを全学級で徹底することで、互いに自分の考えを表現し合い、考えを広げたり深めたりしながら学習内容を理解できるようにしていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・「自主学習ノート紹介コーナー」の取組を継続していくことや「自主学習コンテスト」を開き、自主学習ノートを互いに見合ってよさを見付け、自主学習の質を高めたり、自主学習に対する意欲を高めたりすることができるようにしていく。